

大規模風水害に備えよう

日頃から台風や大雨に備えておくことで、災害が発生した時の被害を抑えられます。
大切な命を守るためにできることから取り組んでみませんか？

災害に備えて今できること

①ハザードマップの見方を知る

ハザードマップは、河川の氾濫や、多量の雨によってマンホールなどから水があふれる内水氾濫が発生するリスクのある地域に色を付けて示しています。また、色の違いで自宅や勤務先などがどの程度の高さまで浸水するのかを確認できます。

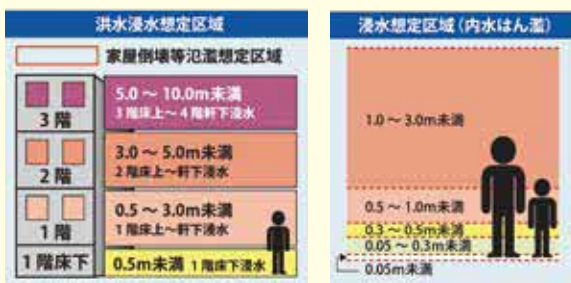


ハザードマップ



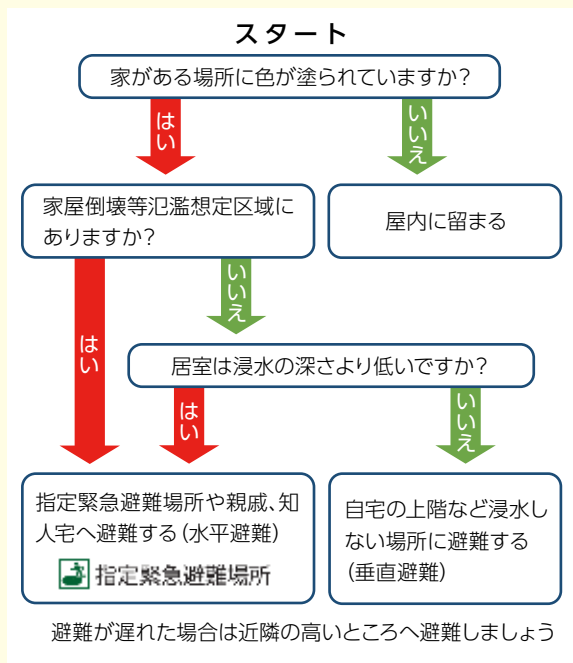
②リスクのレベルと浸水域を確認

浸水想定の色の違いで、自宅やその周辺にどの程度の浸水リスクがあるかを確認しましょう。併せて、避難先・避難ルートも確認し災害に備えましょう。



③リスクに応じた避難行動を

ハザードマップには、災害時に避難行動をどのタイミングで行うかを確認できる判定フローも掲載しています。



マイ・タイムラインを活用しよう

マイ・タイムラインは、災害時に「いつ・なにをするのか」「どこに避難するのか」などを事前に整理しておける行動計画です。簡単に使える作成支援ツールを公開しています。



作成支援ツールはこちらから

図 危機管理課 ☎ 6858-2683



広報とよなかは再生紙を利用し、ベジタブルインキで印刷しています

パソコンやスマホ、タブレットでも！ 広報とよなか デジタルブック



デジタルブックアプリ Catalog Pocket

- スマホ、タブレットでも読める
- 文字サイズを調整できる
- 音声読み上げもできる
- 多言語で読める【日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、タイ語】



デジタルブック版はこちらから